

仙和西雨時報

萬

東京大會は愈よ返上

聖戰目的達成閣議決定

「京東十五日同盟」政府は聖戰目的達成及び長期態制整備の必要に鑑み紀元二千六百年記念萬博覽會開催を延期し又オリンピック東京大會はこれを反対するに至つた。五定の定期開設に於いて先づ池田商相より政府は現國博覽會開催はこれを延期せしめるを適當と認めた旨を説明し更に博覽會開設の困難な事情を詳細に説明し全開設異議なくこれに賛成した。政府は現下舉國一致物心兩方面と邁進しつゝある情勢に鑑みてこれが開催を取り止めを適當と認めた旨を説明し各開設の詳解を求めた。これに對し宇垣外相先づ同意した。

事變の見透しつかば
改め適當の時期に開催

萬博 延期に 池田商相聲明を發表

日本萬國博覽會は紀元二千六百年奉祝事業の一つとして春野の協力に依つて春々の開催準備を進められ來つたものであるが、今や畢竟一致物心兩方面ともに總動員をして長期間の體制を探り聖戰

東京大會中止は
遺憾ながら止むを得ぬ

木戸厚相聲明を發表

オリムピック大會の代りに
實質的有効競技會を開催

ビック

大會の代りに
國內體育大會を計畫

オリムピック東京大會を取

至つた事は誠に遺憾

の次第である。顧みるにオ

リムピック大會が我が國に於

て開催せらる事について

は、丁度其の年の紀元二千六百年の記念年にも當り

且つ我國の體育を海外に於ては最も優秀である

所の上ない好機會である

となるであらうがこれと共に生徒は

も決して運動の精神を喪失す

てゐる。

日本萬國博覽會開催延期に就き池田商相は十五日の聲明を發表した。

かして我が國に開催決定を見

るまでには隨分迂回曲折があ

る。併し、度が非常に難しく、い揚面に逢着したのである。

併し、度が非常に難しく、い揚面に逢着したのである。

荒風血

またも！邦人惨殺となる

血痕ベツタリ！ 遺棄された児器

商談了へての歸途を狙はれて

十四歳以上の青年の爲め

農村青年學校

チエテ移住地に生る

若人の意氣昂揚
バ線青年雄辯大會

峰谷會長王催
お茶の會

若狭丸組
記念懇親會

けふの日本クラブ

云ふれば
彼女山口子（一八）

アーレン
アーレン

アーロス
アーロス

アーレン
アーレン

アーレン
アーレン</p

みんながみた
初詣は、金ぐらのダイアナを
旨さうにも吹きしながら
「やあ！ お詫びなさい！」
と、壁間に詠ふと、陸雄の
顔をチラリと、さぐるやうに
みた
舞子が、そばの椅子を、指
さして「言つた
「お詫び」をあこへてお
かけ！ おみつがお年賀を貰へ
つけまつたら、今度はお前が
相手してくれなけ、ねえエ
兄さま！」
「ウム、」
「陸雄は、初戦のさぐるやう
な眼から、顔をそらしてゐた
おみつが、そばから言ひた
した
「さあ！ お詫びさん、モジ
してないでおかけなさい」と
お詫びは、四人のあひだへ入
つてゆく気がしなかつた。ほ
んたうにモジ／＼して「言つた
「でも、あの、お食事の三」
「いのよ。」 今日様、あん
たにお暇がでた日なんだから
かう！」
と、陸雄は直に立ち上つた
「まア……」
と、おみつは、そわ／＼して
椅子をはなれた
舞子はタバコを投げてな
がら言つた
「お詫びおまへもおいでね！」
お詫は、あわてた
「お供するさ、折角だ！」
と、初戦も立上つた
臺所の仕度を、そのままに
して外へ食事にでる事が、ど
んなに御馳走店さまの御き飯を
離は、幾度となく見聞きして
知つてゐた
「わたくし、お家にましまして
と、お詫は、扉の前に、田
ひ迷惑して言つた。お詫、そ
「迷惑しての？」 お詫、そ
んなお詫は、はにかみやで、南



峠の女性

木原芳樹

“乾ける人生”概要



たに・きよし

ふ
糸つけて手繕るがごとく一日づゝわれに近づく船を



みぶりをもつて知らせる彼等の語調は實に限られた少數だ ◇

子供は「他所で」「イングエノ」を訊いて何の意味かを訊ねた。ドナ・ビトリアは「それが手ぶりがみえず、意をうるさい」と只一言、子供の頭に映らぬ。 ◇

冬の日 桃句 念腹選 鈴木抱春 佐藤陽水 中野陽水 澤田一八

落ちんとす冬日に渡舟出しに 影曳りて冬日の柳に山羊三四匹 腹の側の煮立つ間の冬日 かな

けり 尾かへて腰振る犬や 冬も冬日向 剥離の如き つかつて冬の日向の 大晴に 落つ

尼僧の手をかざしつゝ冬日 またたぎの柳子にかくる冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

ミシン踏む足にのび来し冬日 二代目のボチおとなしや冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

かな 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子

冬の日 桃句 念腹選 鈴木抱春 佐藤陽水 中野陽水 澤田一八

落ちんとす冬日に渡舟出しに 影曳りて冬日の柳に山羊三四匹 腹の側の煮立つ間の冬日 かな

けり 尾かへて腰振る犬や 冬も冬日向 剥離の如き つかつて冬の日向の 大晴に 落つ

尼僧の手をかざしつゝ冬日 またたぎの柳子にかくる冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

ミシン踏む足にのび来し冬日 二代目のボチおとなしや冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

かな 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子

冬の日 桃句 念腹選 鈴木抱春 佐藤陽水 中野陽水 澤田一八

落ちんとす冬日に渡舟出しに 影曳りて冬日の柳に山羊三四匹 腹の側の煮立つ間の冬日 かな

けり 尾かへて腰振る犬や 冬も冬日向 剥離の如き つかつて冬の日向の 大晴に 落つ

尼僧の手をかざしつゝ冬日 またたぎの柳子にかくる冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

ミシン踏む足にのび来し冬日 二代目のボチおとなしや冬日 佐藤潔子 佐藤潔子 佐藤潔子

かな 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子 本木雷子

霧は「山月」の別名である。

老婆—左東 袖葉
高
い白菊が
桜に咲きほこつて
片隅にたゞひとり
ねんと座つて居る
みな老婆の後姿
ほそつた肩のあたりに
年月ぬにじむような
日を讀みて來たのだら
しい影がながめられる
さみしき老婆よ

タダ^{タダ}きて山に早^{アリ}見^ムる。すとみに驚^ムる。おはすがひきりあふた。日根^{ハルヒ}べく、おはすがひきりあふた。林見^ムつゝ親^{シテ}見^ムし仕住^ム。クブル^ム! 冷たさは、寒をもろばす。根^{ハラ}に固^ムく、根^{ハラ}に固^ムく、根^{ハラ}に固^ムく。木の籠^{カゴ}を聞き居る。瓦^{アス}の籠^{カゴ}を聞き居る。瓦^{アス}の籠^{カゴ}を聞き居る。瓦^{アス}の籠^{カゴ}を聞き居る。故原川瀬君一 深

色と
塔へと
めぐる春
来る東風
と
来る」と
いが「こうした歌もみんな
云ふやうな絶妙の意味で
取つてみたが僕個人としては
んな行きかたは贅沢かな
新郎は岸田義雄氏、明日は
タブアド・挙式。バーラー
牛田鶴吉、愛媛守得
とみに蘭筆フルーツ繪
は明るくなつた由
石竹花火、最愛愛の爆
轟、トントン震を起せな
かしい立ち、否ひ
き立ち、胸囃
と
と

A black and white advertisement for Fogões Wallig stoves. The top half features a large, ornate stove with multiple doors and drawers. To the left, there is Japanese text describing the stove's features: 'ガス・木炭及び重油用' (Gas, charcoal, and heavy oil use) and 'フオコン・ヴァリーグ' (Fogões Wallig). Above the stove, the brand name 'FOGOES WALLIG' is written in large, bold letters, with 'Rua Florencio de Abreu, 10' and '(ラルゴ・サン・ペント向ヒ' below it. The background shows a city street scene with people walking and buildings.

造向是是非に他さす。・
ウラス

番 菲
カーザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá 25 - Caixa Postal, 911 - Santos
Phones. 2105 e 2106 - End. Teleg. "TOZAN"
東山銀行部
伯貨定期預金壹ヶ年六分
サンバウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, 74/76 - Tel. 3-1141, 3-1142, 3-1143.
取次所 Conde do Pinhal, 120 Tel. 2-3706
End. Teleg. "TOZAN" Caixa Postal, 528 - São Paulo
リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147 - Caixa Postal, 11 - Lins
Phone. 240 End. Teleg. "TOZAN"